

号)



# かしわの

日

No 499 (6月

令和4年 5月31

調布市立柏野小学校

校長 浅野 正臣

<http://www.chofu-schools.jp/kasiwano-sho> mail:kasiwano-sho@chofu-schools.jp

## 「はじまり はじまり」

校長 浅野 正臣

発表会前日の朝は、嵐のような雨風でしたが、夕方にはやむといわれていた通り、午後には雨があがりました。そして当日は、急な気温上昇の中、実施することができました。保護者の皆様には、児童の体調管理や該当学年だけの参観へのご理解など、ご協力いただきありがとうございます。おかげさまで、土曜日の半日、児童のやる気と、保護者の皆様の温かな応援に包まれた中で発表会を実施することができました。

コロナ禍での2年間は、学校行事の実施の際、様々な工夫を行いました。今年度の発表会も学年ごとの発表や保護者の方の参観の制限のお願いなどの工夫の上で実施しました。「感染予防対策が終われば今まで通り」という思いをもちながら参観していただいた方もいらっしゃるでしょう。学校でもそのように感じる部分があります。一方で、ここ数年お伝えしているように「見直す」いきっかけになっていることも感じています。

まず「参観方法」です。昨年実施した学年ごとの発表会では、「子供の様子を近くで見られた」「子供の動きに合わせて場所を移動できた」「参観の時間が短かったので負担が少なかった」というご意見をいただきました。これらのご意見が、今回の参観の方法を決めるときの参考になりました。

次に「児童が校庭にいる時間」です。今回は、見学を含め約1時間としました。児童の集中力や

熱中症対策を考えてのことでした。今回の方法は「全日、全員で」ということが難しくなる中で、よりよい方法になるのではと考えています。

「楽しかった」「できた」「きんちょうした」「お家の人に見てもらえてうれしかった」終わった直後の児童の感想です。演技の最中の児童の表情は真剣という一言ではあらわしきれないほど素敵でした。終了後のやり切ったという充実感も含めた安堵の表情もまた素敵でした。中には、微笑みを浮かべた表情に神々しさを感じさせる児童もいました。

今回の保護者の方の参観人数は、1290名でした。本校の家庭数が約450件なので、1家庭3名を超える参観をいただいたこととなります。各ご家庭では、今回の発表会についてお子様とどのようなお話をされたのでしょうか。

体育的行事は、気温に象徴される自然環境を始め、児童の体力、演技・競技種目への疑問など、様々な話題がある行事です。感染予防に軸足を置いていた行事も少しずつ次の段階に進んでいます。今回のかしわの発表会(運動)が、来年度以降の「はじまり」です。児童の感想や保護者の皆様からのご意見をいただきながら、また新しいかしわの発表会(運動)をつくっていきたいと考えています。引き続き、ご協力をお願いします。

